

第4学年 社会科学習指導案

日 時 令和6年11月6日(水) 5校時

学 級 4年1組 計29名

授業者 上村 咲樹

1 単元名 岩手県のさまざまな地いきの様子(あたらしいきょうど岩手)

伝統的な技術を生かした産業がさかんな地いき

2 単元の目標

地場産業が盛んな地域について、市町村の位置や自然環境、人々の活動や伝統工芸品づくりの歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地図帳や各種資料で調べてまとめ、伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな市町村の様子を捉え、その特色あるまちづくりや人々の願いを考え、表現することを通して、各市町村では伝統工芸品を広めるために人々が協力し、特色あるまちづくりや産業の発展に努めていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究し、解決しようとする態度を養う。

3 単元について

(1) 教材について

本教材は、岩手県内の特色ある地域のうち、「伝統的な技術を生かした産業がさかんな地域」を扱う小単元である。本教材で取り上げる市町村(盛岡市・二戸市)は、古くから職人によって伝統や技術が受け継がれ、その技術を生かした産業がさかんに行われている地域である。一方で児童が暮らす紫波町は、農業がさかんな地域であり、伝統工芸品として有名な物は少ない。そのため、自分たちの住む地域と比較することで、自然環境や歴史的背景などの違いに気付き、その特色を捉え、地場産業とまちの発展の関連やそれを支える人々の思いや願いについて考えを深められる教材であると考え。

(3) 指導について

本単元の学習に入る前に、南部鉄器と浄法寺塗りづくりの様子(手づくり村、滴生舎)を見学し、自分なりの課題をもてるようにする。単元の導入においては、一斉授業で、盛岡市の南部鉄器と二戸市の浄法

寺塗りについて大まかに捉えさせ、自身の興味関心に応じて調べる対象（地域）を選択できるようにする。追究場面の第2～5時は、自由進度学習の形態をとり、一人ひとりがその時間の課題を自分で選択し、自分に合った学び方で学習を進められるように、複数の資料を用意し、自由に活用できる場の設定を行う。指導者は、ICTも活用しながら一人ひとりの学習状況を把握し、適宜支援したり、必要に応じて児童の関わり合いが生まれるように、声掛けを行ったりする。単元の終末では、学びを交流する時間を設ける。異なる地域について学習している児童と交流を図ることで、「異なる地域であっても、地場産業がさかんな地域では人々が思いや願いをもって協力して伝統工芸品を受け継いでいることや特色あるまちづくりをして産業の発展に努めている」という共通点を見出させ、概念的知識の獲得を図りたい。

（４）研究に関わって

本授業を展開するにあたり、以下の児童の姿を重点として授業づくりを進めていく。

○本単元では、第2～5時を自由進度で進める。どの課題から調べるか、何を使って調べるか、1単位時間内にどこまで調べるかなど、児童が自己決定しながら、自分の興味関心に応じて主体的に課題を追究していけるような環境づくりと教師の支援を行う。【授業づくりの視点②】

○ペアやグループ交流を位置づけ、友達や教師との対話を通して、考えを広げたり、深めたり、変えたりしながら（視点②とも関連）、課題を追究できるようにしていく。その際、教師が意図的に設定した交流だけでなく、学びの中で、自然発生的に生まれる児童同士の交流も大切にしていきたい。また、共有ノートを活用することで、いつでも自由に友達の考えを参考にできるようにしたり、過去の学びをふりかえったりできるようにする。【授業づくりの視点③】

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①盛岡市〔二戸市〕の位置や自然環境、南部鉄器（漆塗り）づくりにおける人々の活動や歴史的背景、人々の協力関係などについて、地図帳や各種資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな盛岡市〔二戸市〕の様子を理解している。 ②調べたことを、ICTを活用してまとめ、伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域では、伝統工芸品を広めるために人々が協力し、特色あるまちづくりや産業の発展に努めていることを理解している。	①盛岡市〔二戸市〕の位置や、自然環境、人々の活動や南部鉄器〔浄法寺塗り〕づくりの歴史的背景、人々の協力関係などに着目して問いを見いだし、地場産業の盛んな盛岡市〔二戸市〕の特色あるまちづくりや人々の願いについて考え表現している。 ②地場産業が盛んな地域の人々の活動と盛岡市〔二戸市〕の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして盛岡市〔二戸市〕の特色を考え、表現している。	①地場産業が盛んな地域の様子やまちづくりについて、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

5 指導と評価の計画（全6時間）

段階	時	○本時の目標 ・主な学習活動	【評価規準】（評価方法）
問題の把握	1	○盛岡市〔二戸市〕と南部鉄器〔浄法寺塗り〕は関わりがあることに興味をもち、単元の学習問題を設定したり、学習の見通しをもったりすることができる。 ・盛岡市〔二戸市〕の位置や伝統工芸品の特色について大まかに捉える。 ・写真や実物を見て、気付いたことや疑問に思ったことを交流する。 ・交流したことをもとに、単元の学習問題を設定する。 盛岡市〔二戸市〕で、南部鉄器〔浄法寺塗り〕づくりがさかんなひみつをさぐろう。 ・学習の進め方を確認する。	【思考・判断・表現】 盛岡市〔二戸市〕の位置や人々の活動、南部鉄器〔浄法寺塗り〕づくりの歴史的背景などに着目して問いを見出している。（タブレット・発言） 【主体的に学習に取り組む態度】 学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。（タブレット・ノート・発言）
問題の追究	2	○南部鉄器〔浄法寺塗り〕を作る仕事の様子や工程について理解できる。 南部鉄器〔浄法寺塗り〕は、どのようにして、作られているのだろう。 ・南部鉄器〔浄法寺塗り〕の製造工程について、予想し、調べる。 ・手作業で行っていることや、たくさんの工程があること、昔ながらの方法で様々な道具を使うなど仕事の様子を捉える。	【知識・技能】 南部鉄器〔浄法寺塗り〕はどのようにして作られているのかを理解している。（プリント・タブレット）
※2・3・4・5時は自由進度で取り	3	○南部鉄器〔浄法寺塗り〕を作る作業の様子を調べ、苦労や努力、願いについて考え表現できる。 職人さんは、どのような思いや願いをもって、作業をしているのだろう。 ・職人さんがどのような思いで南部鉄器づくり（漆かき）をしているか予想し、調べる。 ・調べたことをもとに、職人さんの苦労や努力について考える。 ・職人さんのお話から、南部鉄器〔浄法寺塗り〕に込めている願いや思いを捉える。	【思考・判断・表現】 南部鉄器〔浄法寺塗り〕を作る人々の苦労や努力、願いなどについて考え、表現している。（プリント・タブレット・発言）
	4	○盛岡市〔二戸市〕で南部鉄器〔浄法寺塗り〕が作られるようになったわけを、自然環境や歴史的な背景を関	【知識・技能】 伝統的な技術を生かした地場産業

組 む		連付けて、理解できる。 なぜ、盛岡市〔二戸市〕で南部鉄器〔浄法寺塗り〕が作られるようになったのだろう。 ・盛岡市〔二戸市〕で南部鉄器〔浄法寺塗り〕が作られるようになったきっかけを予想し、調べる。 ・年表や写真などの資料を関連させながら、歴史的背景や製造に適した自然環境があることを捉える。 ・市役所の方のお話で理解を深める。	が盛んな盛岡市〔二戸市〕の様子を理解している。(プリント・タブレット)
	5	○南部鉄器〔浄法寺塗り〕を広めるための具体的な取り組みについて調べ、人々が協力して取り組みを進めていることを理解できる。 盛岡市〔二戸市〕では、どのようにして南部鉄器〔浄法寺塗り〕を広めているのだろう。 ・写真やグラフをもとに、南部鉄器〔浄法寺塗り〕を広めるための工夫を予想し、調べる。 ・多くの人によさを知ってもらい、使ってもらいたいという思いについても深める。	【知識・技能】 南部鉄器〔浄法寺塗り〕を広めるために、盛岡市〔二戸市〕では人々が協力して特色あるまちづくりや産業の発展に努めていることを理解している。(プリント・タブレット)
ま と め	6 本 時	○調べたことと単元の学習問題に対する結論をまとめ、考えたことを表現できる。 伝統工芸がさかんな地域のひみつをまとめよう。 ・南部鉄器〔浄法寺塗り〕について、調べてきたことを交流し、地場産業が盛んな地域の人々が、伝統工芸品を大切に受け継ぎ、それらを中心としたまちづくりを行うことで産業を発展させてきたことを捉えさせ、自分の考えも踏まえながら単元のまとめをする。	【思考・判断・表現】 地場産業がさかんな地域の人々の活動と地域の発展を関連付けて、その特色を考え、表現しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の学習をふりかえり、地場産業が盛んな地域の様子やまちづくりについて、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしているか。(プリント・タブレット・発言)

6 本時の指導（6／6）

（1）目標 調べたことと単元の学習問題に対する結論をまとめ、自分の考えも併せて表現できる。

（2）展開

段階	学習活動	・指導上の留意点　＜　＞評価 ○研究内容との関わり				
導入⑤分	1. 学習問題を設定する。 伝統工芸がさかんな地域のひみつをまとめよう。 ・学習の流れを確認する。					
展開③⑩分	2. 自分の選択した地域について調べてきたことを整理し、まとめるをする。 <table><tr><td>盛岡市</td><td>二戸市</td></tr><tr><td>盛岡市で南部鉄器づくりがさかんなのは、南部鉄器のもととなる原料が盛岡市の周りでとることができたから。また、職人さんが長く続いた伝統を守りたいという思いをもって・・・</td><td>二戸市で浄法寺塗りづくりがさかんなのは、日本一の漆の生産地だから。また、職人さんが使いやすさやじょうぶさに気を付けて多くの人に使ってほしいという思いをもって・・・</td></tr></table>	盛岡市	二戸市	盛岡市で南部鉄器づくりがさかんなのは、南部鉄器のもととなる原料が盛岡市の周りでとることができたから。また、職人さんが長く続いた伝統を守りたいという思いをもって・・・	二戸市で浄法寺塗りづくりがさかんなのは、日本一の漆の生産地だから。また、職人さんが使いやすさやじょうぶさに気を付けて多くの人に使ってほしいという思いをもって・・・	○自分に合う媒体で調べたことを整理する。◆視点② ・タブレットでまとめることを基本とするが、児童が自分に合う方法を選ぶようにする。 ・取り組みが難しい児童には、教師が作ったロイロノートのテキストを配付し、手がかりにできるようにする。
盛岡市	二戸市					
盛岡市で南部鉄器づくりがさかんなのは、南部鉄器のもととなる原料が盛岡市の周りでとることができたから。また、職人さんが長く続いた伝統を守りたいという思いをもって・・・	二戸市で浄法寺塗りづくりがさかんなのは、日本一の漆の生産地だから。また、職人さんが使いやすさやじょうぶさに気を付けて多くの人に使ってほしいという思いをもって・・・					
終末⑩分	3. 交流する。 ・交流相手は自分で決める。 ・質問や意見交換をし、深める。 ・異なる地域との共通点を見つける。 4. 再度まとめるをする。 ・交流を通して見出した共通点をもとに、学習問題に対するまとめるをする。 5. ふりかえりをする。 ・学び方について ・友達との交流について	○端末等を見せ合いながら、交流する。◆視点③ ・共通点を見つけるため、違う地域を調べた児童と交流する。できるだけ多くの児童と交流し、考えを深められるよう促す。 (○盛岡市と二戸市以外の地域についても調べた児童があれば、紹介し、共通する部分があることを確認する。)				
	<評価> ・地場産業がさかんな地域の人々の活動と地域の発展を関連付けて、その特色を考え、表現しているか。【思考・判断・表現】 ・単元の学習をふりかえり、地場産業が盛んな地域の様子やまちづくりについて、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしているか。【主体的に学習に取り組む態度】					